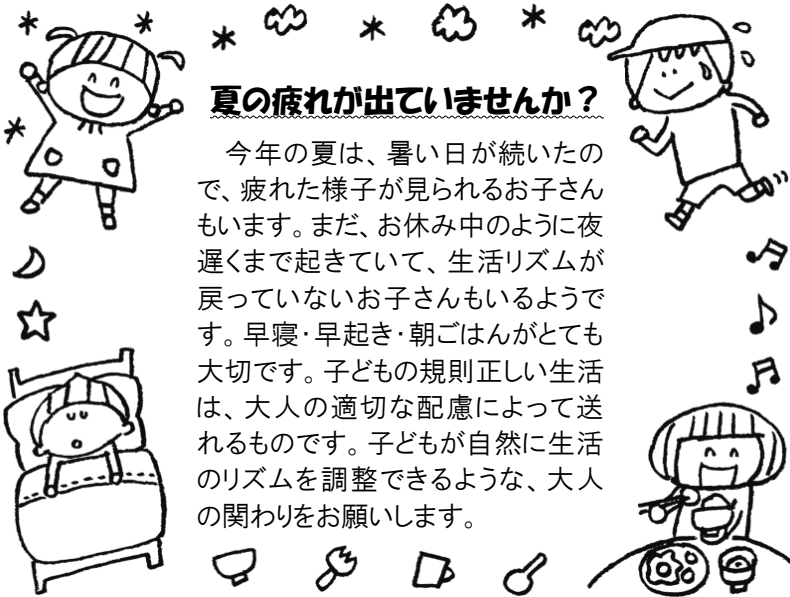
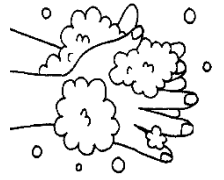


暑さも少しずつ和らぎ、涼しい風を感じる季節になってきました。日頃より、保護者の皆様には新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。**山形県内では、9月12日まで【感染拡大防止特別集中月間】です。**保育園でも感染防止対策に十分気をつけて過ごしていきます。ご家庭でも、ご家族みなさんで感染対策を行っていきましょう。お子さんやご家族の方の体調で気になることは、必ず職員へお知らせください。

〈手洗いは衛生の基本です！〉

手は、さまざまなものに触れるため、目に見えない汚れや細菌、ウイルスなどがついてしまいます。そして手を介して、さまざまな感染症が人から人へうつっていきます。そのため、手をきちんと洗うことが必要になります。手を洗う時は石けんを泡立てて、ていねいに洗います。感染症などを予防するためにも、手をきちんと洗う習慣をつけましょう。



夏の疲れが出ていませんか？

今年の夏は、暑い日が続いたので、疲れた様子が見られるお子さんもいます。まだ、お休み中のように夜遅くまで起きていて、生活リズムが戻っていないお子さんもいるようです。早寝・早起き・朝ごはんがとても大切です。子どもの規則正しい生活は、大人の適切な配慮によって送れるものです。子どもが自然に生活のリズムを調整できるような、大人の関わりをお願いします。

9月9日は『救急の日』

～ケガや事故につながらない

備えをしましょう～

家庭内でのケガや事故を防ぐには、お子さんの発育を知ることが大切です。現在どれくらいのことのできるのかをよく知らないことからケガや事故は起こります。子ども達はあっという間に大きくなり、歩きはじめ、走り、よじ登り、飛び上がり、いろいろな物に興味を持つようになります。この頃は、一生のうちでも、最もケガの多い時期です。しかし、まだ自分で身を守ることはできません。周囲の大人がいつでも事故が起こりうることを忘れずに、子ども達を事故から守りましょう。



《転んだり、落ちたい…ケガをしたときはお知らせください！》

お家で過ごしている時に、ケガをしたり、頭をぶつけてしまったりした時には、登園時に必ず職員へお知らせください。お子さんの様子やケガの状態を保育園でも注意深くみていきます。

転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

赤ちゃんや子どもは転んだり落ちたりして頭を打つことがよくあります。そのときに怖いのが、頭蓋骨内でじわじわと出血して、時間差で症状がでることです。頭を打ったら、注意深く様子を見てあげましょう。

すぐ病院に！

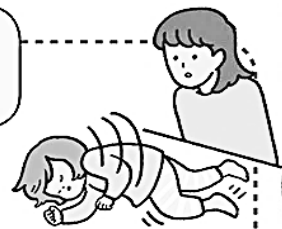


一つでも当てはまる場合

- 繰り返して吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう、左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している、出血がひどい

左の項目にあてはまらないときは次の点を守って、数日間注意して様子を見ましょう。

- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる
頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。
 - 症状が出てきたらすぐに受診する
 - 夜寝ているときの様子もチェックする
- 睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。



- 少しずつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ピクピクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない